

ほけんだより 4月



太陽の子保育園平成21年4月

ご入園・ご進級おめでとうございます!

春のあたたかな日差しをあびて、冬のあいだ寒さにふるえていた草木も目をさましてきました。色とりどりに芽吹く自然の躍動を、子どもたちも全身で感じているのではないのでしょうか。そんな草木に負けないうらい元気いっぱい、子どもたちもこの1年をスタートさせてほしいと思います



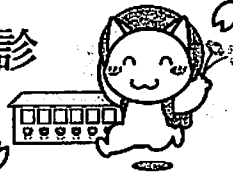
今月のスケジュール

4月15日(水)

12:00~

春の健康診断
全園児です。

0才児健診



ぎょう虫とは

長さ1cmの白い寄生虫で、夜寝ている間に肛門周辺に卵を産みつけます。感染するとかゆみ、睡眠不足、夜泣き、爪かじり、神経質などの症状が現れます。

ぎょう虫検査で陽性が出た場合は、医師と相談の上、子どもたちだけでなく家族全員で駆虫剤を内服してください。

ぎょう虫検査のお知らせ

22日(水)が提出日です。朝起きて排尿、

排便の前にしてください。2日続けて行ないます。

ピンテープ配付と詳細は後日お渡しします

予防接種早わかり一覧表

| 種別 | 勧奨接種(定期接種) | | | | 任意接種 | | | | |
|------|--|---|--|--|--|--|--|---|--|
| | ポリオ | BCG | DPT(3種混合) | 麻疹(はしか) | 風疹 | 日本脳炎 | おたふくかぜ | 水痘(水ぼうそう) | インフルエンザ |
| 種別 | ポリオ(小児まひ) | 結核 | ジフテリア 百日せき 破傷風 | 麻疹 | 風疹 | 日本脳炎 | おたふくかぜ | 水ぼうそう | インフルエンザ |
| 接種方法 | 生ワクチンの経口接種 | 生ワクチンのスタンフ方式(針注射) | 不活化ワクチン+トキソイドの皮下注射 | 生ワクチンの皮下注射 | 生ワクチンの皮下注射 | 不活化ワクチンの皮下注射 | 生ワクチンの皮下注射 | 生ワクチンの皮下注射 | 不活化ワクチンの皮下注射 |
| 接種時期 | 生後3か月以降に、6回以上同種をあげて2回。2回目は90か月までに行なえば、何年同種があってもいいです。 | 平成17年4月より、事前予防接種(PPV)は行なわず。生後6か月までに1回接種。ただしやむをえない理由があるときは1歳までに1回接種。 | 生後3か月以降、1期前接種として、3回(3~4回同種接種)接種します。その後、1年~1年半年間をあげて1回接種します。2期は、小学校6年のときDPT(ジフテリアと破傷風)を1回接種します。 | 平成16年4月より、はしかと風疹が、混合ワクチン(MRワクチン)となりました。日本脳炎は、一回が1歳から5歳、二回が小学校入学前年の2回の2回接種しました。(また、はしか・風疹それぞれ1回接種でも可) | 平成16年4月より、はしかと風疹が、混合ワクチン(MRワクチン)となりました。日本脳炎は、一回が1歳から5歳、二回が小学校入学前年の2回の2回接種しました。(また、はしか・風疹それぞれ1回接種でも可) | 生後6か月以降90か月までに、1~4回同種をあげて2回接種します。1年後に1回追加接種をします。その他、4~7年おきに追加接種を2回します。 | 1歳以降に1回接種します。 | 1歳以降に1回接種します。 | 生後9か月以降、1回から4回の回数を(4回が推奨)で2回接種します。できれば10月から12月に。 |
| 接種回数 | 4週間 | 4週間 | 1週間 | 4週間 | 4週間 | 1週間 | 4週間 | 4週間 | 1週間 |
| 接種場所 | ほとんどない (200~300万人にひとりが、ワクチンによってこの病気を起こすことがあります。) | 接種の跡が赤くはれたり化膿したりすることがあります。まれに腕の下のリンパ腺がはれることもあります。 | 接種部位が赤くはれたり、しこりができたりすることがあります。まれに発熱することもあります。 | 接種後1~2週間の間に、約20%の子どもに発熱と軽い発疹が現れます。 | 軽い発熱や発疹、リンパ腺のはれなどが見られることもあります。 | ごくまれに発熱や発疹が出ることもあります。ごくまれに血腫炎を認めることもあります。 | 2~3週間後に、発熱や耳の下が赤くはれることもあります。ごくまれに血腫炎を認めることもあります。 | まれに軽い発疹や発熱が出ることもあります。予防接種をしていても、約15%の子どもは水ぼうそうにかかります。しかし、症状は軽くなります。 | ほとんどありませんが、卵を食べることを原因から感じられている子どもは、遅けたほうがいいでしょう。 |

毎朝必ず健康観察を!

毎朝子どものようすを観察し、少しでも変化があれば必ず教えてください。

例:せき、鼻水、湿疹、目の充血、熱、顔色、機嫌、子どものことば「だるい」「しんどい」「痛い」など。

